

2024年12月号(No.20)



多気町立図書館だより

TEL:0598-38-1133 (多気図書館)

TEL:0598-49-4500 (勢和図書館)

<https://www.town.taki.mie.jp/library/index.html>



～年末年始休館のお知らせ～

12/28(土)～1/4(土)

上記の期間は両館休館となります。

返却はブックポストへお願いいたします。

三重県がん診療連携協議会がん相談支援部会連携展示

「がんを知ろう、相談しよう」キャンペーン展示

勢和図書館:11月30日(土)～12月13日(金)

多気図書館:12月14日(土)～12月27日(金)

多気図書館

12月のカレンダー

□: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7 おはなし会
8	9	10	11	12	13 おはなし会 おもちゃブッククラブ	14 おはなし会 ほけつとブッククラブ
15	16	17	18	19	20 赤ちゃんおはなし会	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	おはなし会 10:30～			

～イベント紹介～

・冬のブッククラブ in 多気図書館 2024

12月14日(土) 13:30～

『ゆかいなホームーくん』を読みます。

対象: 小学生

耳から聞く物語。ぜひ楽しんでください!

※申込みが必要です。

詳細はチラシにて

『ゆかいなホームーくん』(933マ)

ロベ-ト・マクrost-/作 岩波書店



勢和図書館

12月のカレンダー

□: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
1 ほんとカフェ	2	3 おはなし会 (0歳)	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14 おはなし会
15	16	17 おはなし会 (1～3歳)	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	おはなし会 10:30～			

ブックスタート(おひさま) 12/20(金) 10:00～

～イベント紹介～

・ほんとカフェ&英語で楽しむ冬のひととき

12月1日(日)13:00～16:00

英語で楽しむ冬のひとときは

14:00～ ジェイミーさんと(小学生以上要予約)

15:00～ おはなし会・歌(どなたでも)

詳しくはチラシをご覧ください♪

FB・Insta→「多気町立勢和図書館」

か「seiwilib」で検索



勢和:FB



勢和:IG



『冬の龍』 藤江じゅん/作

福音館書店(9137)

シゲルの前に突然現れた小機二郎。彼はケヤキの化身だという!おまけに龍の卵を孵らせる源となる雷の玉を探しているという。それを大晦日までに探し出さなければ災いが起きると言うが...!?



12月のおすすめ本



『チョコレートを食べたことがないカカオ農園の子どもにきみはチョコレートをあげるか?』 木下理仁:著 旬報社(333.8マ)

身近な問題から国際問題まで。まずは知ること。知らせることから世界は変わっていく。その問題に直面したら、あなたならどうするか?読むワークショップ。

この書名のテーマにみなさんならどう考えますか?

『ごみ収集の知られざる世界』 藤井誠一郎:著 筑摩書房(518.57)

大そうじをして、すっきりした気持ちで新しい年を迎えたいものですが、家庭や職場、あるいは外出先で、私たちが捨てたごみは、どのように処理されているのでしょうか。私たちがごみ箱に入れたごみを取り出して、分別し、処理してくれる人がいる。さまざまな地域や自治体のごみ収集についてのルポルタージュです。



『私はヤギになりたい』 内澤旬子:著 山と溪谷社(645.4マ)

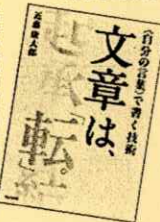
ヤギになりたい!と願う著者が、今からではそれは叶わないため、それじゃあ、とヤギを飼い始める。ヤギとの生活は四苦八苦。エサになる草はなんでもいいわけではない!床に落とした草も嫌がります!ヤギのエサのために。と奔走しているうちに、いつの間にか自分も植物に詳しくなるし・・・。

ヤギのカヨたちとの大変な、でも愛しい生活。

『文章は、「転」。』 近藤康太郎:著 フォレスト出版(816マ)

「転」は、起承転結の転。えっ、「承」で結論まで書いてしまう!?

近藤康太郎さんの、「えっ!?!」と驚く文章指南書。逆に考えると、自分では起承転結のある文章を書いているつもりでも、起承のみで終わってしまっているかもしれない。終わったと思った地点から転がっていく文章を書くには!?トレーニングあるのみ!!



『階段ランナー』 吉野真理子:著 (F913.6マ)

こんなにも階段が魅力的なものだなんて。上がった下がり、人生と似ているのかもしれない。東京・横浜・鎌倉など観光名所の階段もたくさん登場します。ラストは、「京都駅ビル大階段駆け上がり大会」に、69歳元アスリート・元高校教師・悩める高校3年男女が1つのチームを組んで出場します。階段を駆け上がった先にはどんな光景が広がっているのでしょうか。まだまだこれから!と思える爽やかな物語。

『荒れ地の種』 江上剛:著 光文社(F913.6マ)

本当の復興とはなんなのか...

津波により酒蔵も何もかも奪われてしまった矢吹酒造所の八代目の光。あの日助けられなかった命を悔やみ、酒造りの再建を断念していたが、テレビの取材により転機が...。光の姿を頼り、矢吹酒造復興を願う人たちが集まる。酒造は福島の文化の担い手!矢吹酒造の復活が、福島の本当の復興に繋がる!

